

分苑たより

なごみ

大本
名古屋分苑

分苑長

春季大祭 挨拶

令和四年春の大祭に本部より愛善みづほ会理事の西島里司様、東海教区三重主会長の日野澄利様にお越しいただき、皆様と共に大本名古屋分苑春季大祭ならび祖霊合同慰霊祭を盛大に執り行わせていただきました。

誠にありがとうございます。新型コロナウイルス早期終息祈願も皆様の熱心な祈願のお陰で大難を小難に小難を無難にと、日々ご守護を頂いているものと思います。このままコロナが沈静化し収束することを願っております。

ロシア軍によるウクライナ軍事侵攻が依然として続いており日々大勢の犠牲者がでておりますことは、大変胸が痛く、大変心配しているところです。感謝祈願詞に「人慾の為に

争ふことを恥らひ天地の間に生とし生きる万物を損なひ破ることなく」とありますが、

利己主義・弱肉強食の精神と行いは強く戒められており、やはり「人々を悪まず」「あまねく世の人と親しみ交り」の精神・神心が大切です。

新型コロナウイルスの早期終息祈願とともに、世界の平和、ウクライナに平和が一時も早く訪れますように引き続きお祈りをさせて頂きましよう。

四月からは、行事予定表にある海津市の植林地の献勞をおこないました。来週の二十三日・二十四日と一泊二日で梅松苑の献勞があります。

後程、誠心会長より再度お話がありますが、今年のみろく大祭時と開祖大祭時に本宮山参拝が出来ます。そのため参道整備と金龍海周辺の整備も検討されておられます。

五月の聖地は教主生誕祭・みろく大祭・祖霊大祭・万霊大祭と祭典があります、参拝出来ない方は玉串参拝が出来ますので宜しく願っています。

五月十五日の月次祭後に機関長会議を行います。議題は各家庭で祖霊様をお祀りしておられる齋主の方がお亡くなりその後の祭祀の実態と一人世帯の状況の確認説明等です。

令和五年度の人型・型代等の申し込み枚数の本部へ提出の期限が月末になっていきますので提出されていない方は申込枚数をお願いいたします。

この後、愛善みづほ会理事の西島様より お土 生き物 ”命の源”と題して講演をお願いしています。

またドコモより多目的ホールで出張販売を行っていただけますので、ご利用のほど宜しくお願いいたします。

今日は十三時より十六時まで全国主会長オンライン交流会が開催されるため三河本苑加藤様・岐阜主会溝口様・長

野主会池田様・三重主会日野様・私とで名古屋分苑にて五名の方で参加をいたします。時間がある方はオブザーバー参加されても結構です。

本日の春季大祭と祖霊合同慰霊祭にご参拝誠にありがとうございました。

行事報告

●月始祭

四月二日(土)

参拝者 十八名

齋主 五十川 松子

祭員 畠山 茂

進行 青山 将士

祭典終了後、妹尾特任宣伝使による講話「腸内環境と地球環境」を受講した。

●春季大祭

春季祖霊合同慰霊祭

四月十七日(日)に中村幸

夫執行委員長、菱川義英・五

十川松子副執行委員長、大神

様齋主・高嶋善雄分苑長、慰

霊祭齋主・森満政様の下、愛

善みづほ会理事の西島里司

様をお迎えして厳粛に執行さ

れ、祭典後には八雲琴「神の

都」が奉納された。

引き続き、西島先生による記念講話「お土 生き物の命の源」を受講した。

なお、コロナ感染防止のため、直会はお持ち帰りいただいた。参拝者 五十五名

(大祭関係者含む)





☆前日は十時から直心会・準備委員により、分苑内の清掃・祭典準備が行われた。



●海津市松植樹地草引き献勞

四月三日(日)、Bグループ10人(半田支部、明北支部、分直、神ノ倉分所)、応援者3人(高嶋分苑長、妹尾さん、日比さん)の合計13人で、海津市の松植樹地の草引き献勞奉仕を行いました。前日より雨の心配があり、予定通り実施すべきが大変迷っておりましたが、メンバーの方より「やろう」と声をかけて下さり、予定通り実施することといたしました。天気予報では、降水確率は40%から70%とあり、大神様に「雨が降らないように、作業が安全に完了いたしますようにご守護下さい」とお祈りして出かけました。

現地は九時半に集合。十一時40分まで作業を行いました。皆さん、時間を惜しんで草の根の除去を行いました。結局雨は全く降らず、作業が終了して30分後に雨が降り始めました。

参加者の方が多かったことと、皆様の真剣なご奉仕により、予定した草引きも計画通り終了でき、達成感のある充実した一日となりました。帰宅して早速、大神様に御礼のお礼拝をさせていただきました。多くの皆様のご奉仕と、大神様のお陰に大変感謝しております。

山田 謙三 報告



●綾部献勞奉仕

名古屋分苑誠心会は四月二十三日(土)二十四日(日)と綾部梅松苑の献勞を行いました。

した。

今迄は老松殿南側急斜面の草薙が主な作業でしたが、今回は百三十年記念の年でもあり、来る五月四日・五日の本宮山への特別参拝が許されるのに合わせて、二十三日(土)は老松殿南側鶴の間入口付近の草薙と本宮山入口付近の雑木の片付、参道の整備を二組に分かれてさせて頂きました。翌二十四日(日)は金龍海周辺の大八洲・杵島・冠島・大本塩釜の島に、小鹿さんの船頭にて舟で各自が島に渡り、お社の清掃と島の雑草の除去を行いました。

此度の献勞は暑くもなく寒くもなく雨も最後にパラパラと降ったくらいで大変作業がし易かったし充実感もありました。

今回の献勞者は石原松生・堀 宜雄・妹尾正治・小鹿正光・小林清人・鈴木克彦・日比達朗・畠山 茂・高嶋善雄の九名でした。次回は十月下旬に予定しています。また一人でも多くの方々の

参加をお待ちしています。

畠山 茂 報告



行事予定

五月十五日(日)

月次祭 午前十時半より

六月四日(土)

月始祭・企業繁栄祈願祭 午後一時半より